

第13回補助金検討委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成17年4月20日（水） 午後7時00分～午後9時00分

2 開催場所 浦安市役所第3庁舎第2会議室

3 出席者

（委員）

小泉 允 囿 委員長、川口 明 浩 副委員長

渡邊 襄 一 委員、大川 三 敏 委員、野崎 実 委員、

舘 里 枝 委員、仲澤 泰 委員

（事務局）

新宅 秀 樹 財政課長、及川 力 副主幹

渡辺 豊 副主査

4 欠席者

藤岡 順 次 委員

5 議 題

(1) 補助金検討委員会報告書(案)について

(2) その他

6 議事の概要

(1) 補助金検討委員会報告書(案)について

補助金検討委員会報告書(案)をもとに、議論が行われた。

本日の議論をもとに、最終報告書(案)を委員長、副委員長、事務局で調製し、次回の委員会に報告することとなった。

(2) その他

次回会議の開催は、5月19日（木）。

7 会議経過

補助金検討委員会報告書(案)についての議論が行なわれた。

事務局：各委員より提出された修正案及び前回会議での意見をもとに事務局で取りまとめた報告書(案)について事務局より説明を行った。

委員：はじめにの中の「現状の補助金の妥当性については検討が不可能でした」とあるが、言いまわしが強すぎるのではないか。全く検討してないような言い方になっているが、検討も行なったし検討の結果、問題が明確になったものもあるので、言い回しをかえた方がよい。

委員：補助金交付の現状の中の別表からは、ここに書かれた文言がわからないので、別表をもっとわかりやすく工夫した方がよい。

委員：補助金交付の現状の中に、例えば30万円以下の少額補助金を入れたらどうか。

委員：この補助金等の交付基準は、どちらかと言うと判断基準的な感じがする。

委員：交付基準の中の「補助金を交付する期間を3年とし、その期間が到来した段階で、

ゼロベースで補助事業を見直すこと」とあるが、これは、必ず守るべきものなのか？これが出来ないと、また従来どおりになってしまう。

⇒交付基準に照らして問題が無ければ継続もありとすれば、この基準を出してよいと思う。

委員：補助金申請、事業報告書、補助金決算報告書等の統一的な様式の規定をつくらないと、これまで市で検討してきたものと変わらない。また棚上げになってしまう。

委員：この委員会で基準をつくるのではなく、あくまでも考え方を示せば良い。委員会では要綱まではつくることはない。提言書を受けて、役所がどういう基準をつくり、この提言書を運用していくかではないか。

委員：市への提言の中の合規性からみて廃止すべきものとあるが、「合規性」だと強すぎる。内容は医療廃棄物補助金だが、時代性のような当初の目的からみて等の表現に変えたほうが良いのではないか。

委員：この報告書の最後に、この報告書の使われ方（スケジュール、モニターリング等を踏まえて）を加えたらどうか。

次回会議は、5月19日（木）に開催します。本日の検討結果を踏まえた報告書を取りまとめ、次回の委員会において、委員の了承が得られたら市長に提出することとなった。